



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」

一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつ



とての かふち

《学校だより》 第17号

令和2年12月18日発行

湯河原町立湯河原小学校

校長 北村和裕

寒波がやってきました。いよいよ本格的な冬を迎えます。「寒い、寒い」と言いながら部屋にこもりがちですが、学校では冷たい風が強く吹いても休み時間に外で遊ぶ姿や、体操着で運動する姿があります。中には半袖半ズボンで登校する子もいて驚きます。子どもたちの元気よく活動するパワーを、周りの大人たちも吸収しながらこの冬を乗り越えていきたいと思います。



運動場でタグラグビーの学習

たくさんの方に参観していただきました！

12月5日（土）の学校公開日には、たくさんの保護者の方が学校に来てくださいました。各教室の廊下に置いた出席者名簿の○を数えてみると、全校で272でした。（ご家族で来られた方でも○は1つだったり兄弟がいるご家庭は複数の○がついていたりするので、正確な参観人数ではありませんが）今年度、教室でお子さんが学習する姿を見るのは初めてだったと思います。おうちの人に見てもらえる



喜びからか、いつも以上に張り切っている子も見られました。特に1年生は机に向かって字を書いたり、黒板の文字を読んだりするお子さんの姿が新鮮に見えたのではないのでしょうか。担任も授業だけでなく、図工や生活科、国語などで作った作品を廊下や学習室にも飾ってこれまでの学習の足跡も保護者の皆さんに見ていただこうとしていました。今回は密を避けるため、3時間目か5時間目のどちらかでの参観をお願いしていましたが、ご協力くださったおかげで同じような人数に分かれての参観となりました。感謝申し上げます。

お弁当の日 ご協力ありがとうございました

学校公開日はお弁当の日でもありました。5時間目が終わり、参観されていた方が家路につく頃、子どもたちは教室で楽しいお弁当の時間でした。しかも、お弁当の日なので自分もお弁当づくりに関わった子が大勢いました。1年生の教室では「このベーコンを楊枝で刺したのは僕なんだよ」「僕もこのウインナーを焼いたよ」などうれしそうに話していました。2年生の教室では、ご飯の上に海苔でキャラクターにかたどったお弁当を見せながら「かわいいから食べられない」とつぶやいていました。

お弁当作りのために、献立を考えたり材料を買いに行ったり、実際に作ったりすることによって、栄養のバランスの大切さに気づき、「食育」に対する関心が高まっています。これからも子どもたちが積極的にお弁当づくりに関わることができるようにご協力をお願いします。



第2回学校評議員会

学校公開日に学校評議員会を開催し、3時間目の子どもたちの学習の様子を学校評議員の方々に見ていただきました。その後、会議室で次のような内容の話し合いをしました。

- ① マスクや手洗い、学校行事などの学校でのコロナ対策について
- ② 湯河原町の小・中学校で子ども一人一人に配備される予定のタブレットの使い方や活用場面などについて
- ③ 地域や地区の行事への子どもたちの参加人数の減少について

学校評議員の方々からの多角的な視点でご意見をいただき、学校や地域としての課題が浮き彫りになってきました。いただいたご意見を踏まえて、これからの学校運営に生かしていきたいと思っています。